

093 明治時代 殖産興業

江戸時代の両替商は幕末維新の激動を

乗り切れず没落(例外が 三井・住友)

三井と住友は人材の多様性がある、新時代に合った人材を登用しました。教訓: 同じような人材ばかりの組織では環境の変化に弱いです。

国家主導の産業育成

殖産興業 ... 上からの産業育成策。

富国強兵 ... 新政府のスローガン。

内務省 ... 軽工業を担当

工部省 ... 重工業を担当

大久保利通が内務卿となり、弟分の伊藤博文を工部卿に、大隈重信を大蔵卿にして、国家と国民のために殖産興業を推進しました。

官営模範工場

1857	幕府、(<u>長崎造船所</u>)建設 →1868年、官営になる。
1868	肥前藩、(<u>高島炭鉱</u>)開発。
1871	北海道に米国人(<u>ケプロン</u>)招く
1872	<u>内務省</u> の官営(<u>富岡製糸場</u>) フランス人ブリューナの指導で、上級士族の子女が富岡工女として公募されて、全国へ指導者として西洋技術を移転しました。
1872	<u>工部省</u> による鉄道事業推進 (<u>新橋</u>)・横浜間に鉄道開通。
1873	官営 <u>三池炭鉱</u> (北九州)
1874	官営 <u>三田育種場</u> (東京・三田)
1874	(<u>屯田兵</u>)制度 対ロシア警備と北海道開拓にあたった農兵。生活に困窮する士族授産の意味もありました。
1877	官営(<u>新町紡績所</u>)高崎市 製糸の過程で出るくず糸を原料に糸を作ります。今までくず糸を利用せず輸出してました
1877	第1回(<u>内国勸業博覧会</u>) 大久保利通 の信念で開催。 西南戦争中に上野公園で開催。国産原料と在来技術で産業化できる展覧会を考えました。 → <u>臥雲辰致</u> の(<u>ガラ坊</u>)がその騒音からそう呼ばれました。水力。機械紡績が普及する前の日本の紡績業を支えました。全国に爆発的に広がりましたが特許制度がなく無許可で次々と普及。
1878	(<u>安積疏水</u>)で郡山を開発 猪苗代湖の水を引いて米生産量日本一に

【製糸業とは】

カイコがつくる繭から繰り取り、生糸をつくる産業です。綿糸を作るのは紡績業といいます

【紡績業とは】

綿花から綿糸をつくる産業です。

政商

政府から特権・保護を与えられて急速に成長した資本家です。ロスチャイルド財閥など、イギリスでは100年かけて資本を蓄積して実現した資本家を、日本は十数年で上から育てようとしてました。

政商その1 三菱

土佐の郷士(最下級武士)出身の

岩崎弥太郎 が興した 政商 資本。

- 台湾出兵で兵員を船で運んで巨利。
- 但馬 生野 銀山、佐渡金山
- 三菱長崎造船所、高島 炭鉱を払下げ
殖産興業は三菱にとっていく さなんだから
但馬いくの銀山 さど金山
三菱 ながさき造船所 三菱たかしま炭鉱

政商その2 三井

元禄時代に 三井高利 が越後屋呉服店

民衆相手に 現金掛け値なし の新商売

幕末維新期の混乱で没落しなかった豪商。

- 富岡製糸場、新町紡績所、三井三池炭鉱
三井家に 新たな富だ 富岡三池
三井家=みいけ 新町、富岡

政商その3 古河

政商 古河市兵衛 が、院内銀山(秋田)、

阿仁銅山、足尾銅山(栃木)を払い下げ

政商その4 住友

元禄時代に 別子 銅山を開発、経営。

幕末維新期の混乱で没落しなかった豪商。